

退院支援事例⑩

地域包括ケア病棟を活用した
地域での暮らしを支える取り組み

高血圧 脂質異常症 高尿酸血症
多発性ラクナ梗塞 70歳代後半女性

入院に至る経過

約1年前から立位になると両腰部がしめつけられるようになったと訴える事例で、近医及び医大の整形外科では特に指摘なく、経過観察となっていました。しかし、徐々に歩行距離は短くなり、立位での血洗いも困難になりました。地域のかかりつけ医（内科）を受診され、日常生活動作改善のための筋力強化、リハビリテーションを目的に地域包括ケア病棟の紹介をして頂き、当院へ入院されました。

地域包括ケア病棟での入院生活

再度、当院整形外科での診察を行い、リハビリテーション介入に問題がないことを確認しました。積極的な体幹下肢の筋力増強と歩行練習を行い、適切な動作練習も行いました。

退院に向けたアプローチ

自主練習のメニューを入院中からセラピストと共に作成・練習し、ご自身でセルフトレーニングが実施できるようになって頂きました。

1週間後、自宅退院され、その後症状の増悪は認めず生活されています。



セルフトレーニング用紙

外来診療のご案内

外来受付時間	午前9時～午前12時まで
外来診療時間	午前9時30分～午前12時まで
休診日	日曜日・祝日・ 年末年始（12/29～1/3）

内科外来担当医師

赤字は女性医師

リハ外来は予約制

	月	火	水	木	金	土
1診	右原	林	右原	水本	眞島	リハ 外来
2診	神田	大塚	中川	坂本正	古川	林

赤字は女性医師

精神科外来担当医師

	月	火	水	木	金	土
1診	田原	岸本	平井	井上雄	もの忘れ 外来	当番医
2診	洪	田原	松本	嶋吉	原田	嶋吉
3診	杉山	中井	井上慶	洪	西川	当番医
5診		坂本健			上田	こどもの 心

もの忘れ外来、こどもの心（児童思春期）外来は予約制
(0745-64-2069)

～無料シャトルバスのお知らせ～

八木方面 ○近鉄 大和八木駅（南側ローソン前）
橿原方面 ○近鉄 橿原神宮前駅 西出口
○JR 玉手駅（踏切南側）
高田方面 ○近鉄 御所駅（バスロータリー内）
○JR 高田駅（西出口側ロータリー内）
○近鉄 大和高田駅（正面ロータリー前）



無料シャトルバス



時刻表



乗車位置

No.18 2023年8月1日発行

医療法人 鴻池会

秋津鴻池病院 ニュース 8

2023 August



地域包括ケア病棟の紹介

退院支援事例⑩

地域包括ケア病棟を活用した
地域での暮らしを支える取り組み

【お問い合わせ】

秋津鴻池病院 医療相談課（9時～16時30分）

➤ 医療機関 入院相談専用

FAX：0745-64-2078

➤ 当日緊急対応が必要な場合

内線番号1149（9:00～17:15）

〒639-2273

奈良県御所市池之内1064

TEL：0745-63-0601 FAX：0745-62-1092



01 医療・看護・介護

疾患を問わず、「起きる」「食事」「排泄」「入浴」「着替える」などの日常生活動作の支援を、**医療・看護・介護・リハビリテーション**の多職種協働により支援します。



医療

02 リハビリテーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が常駐し、個別で移動、排泄、食事、整容、入浴、コミュニケーション等の日常生活動作に直接介入します。ベッド周囲の環境調整や病棟スタッフへの介助方法の提案指導をすることで、日常生活動作の習慣化や動作の習得、病棟全体のケアの質の向上に努めています。



母国に四季を感じながら立位練習



葛城山を望む歩行練習



多職種連携

日常生活動作練習

03 多職種連携退院支援

入院早期から退院後の生活を想定し、具体的な支援と利用サービス等との調整を図ります。

退院後のその人らしい生活を見据え、食事や排泄ケアを大切にしながら、多職種で連携を図り、退院後にも支援を継続していきます。

課長 中野 初美



魅力

地域包括ケア病棟の

地域包括ケア病棟の入院について

疾患を問わず、入院が可能です。



0745-63-0601 医療相談課まで

当日緊急対応が必要な場合（内線）1149
医療機関 入院相談専用

FAX 0745-64-2078

※入棟期間はおおよそ60日です。
※退院後はかかりつけ医のもとで、
在宅生活を継続して頂きます。

在宅緊急受け入れ機能

在宅や介護施設で療養生活中の生活支援が多い患者さんの受け入れが可能です。
（例）肺炎、心不全、脱水、蜂窩織炎、褥瘡など

在宅療養支援機能

- ・レスパイト入院
- ・糖尿病などの疾病教育 など

介助者の急な入院や介護負担等で入院が必要な場合、またリハビリテーションを目的とする方の受け入れが可能です。
※事前に診療情報提供書を頂けましたら幸いです。

地域の先生方と共に
地域の皆さまの生活を支えます

この度、副院長に就任した坂本です。
地域包括ケア病棟では、地域でお暮しの皆さまを広く受け入れています。
今後も、住み慣れた地域での生活を支援できるよう尽力して参ります。

副院長 坂本 正洋

